

彼方小だより

児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和 7 年 5 月号



【彼方小 HP の QR コード】

「彼方小の素敵な子どもたち」

こうちょう うえもと ひろし
校長 上本 浩

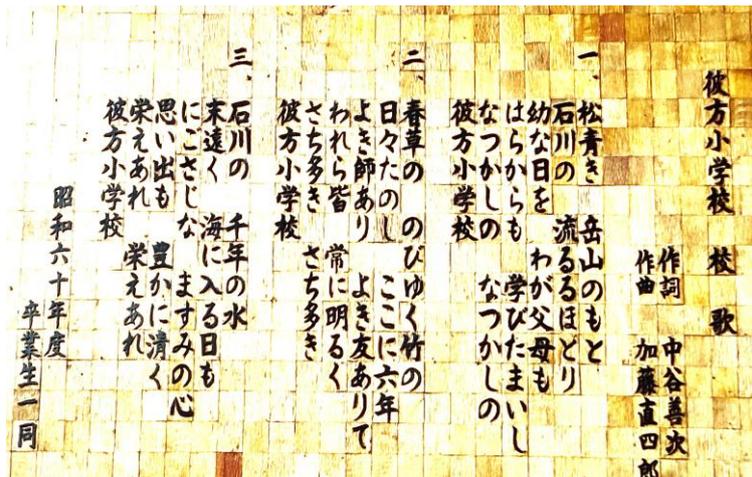
早いもので、ついこの前1学期が始まったと思えば、はや1ヶ月が過ぎ、風薫る5月となりました。保護者の皆様には、4月25日（金）に授業参観に来ていただき、学校での子どもたちの様子を見ていただきありがとうございました。また、現在、家庭訪問を実施しております。訪問してお聞かせいただいたことにつきましては、今後の活動に生かしていきたいと考えております。ご多用な中、ご協力くださり、ありがとうございます。

授業中や登下校中に子どもたちの様子を見ていますが、この1ヶ月の間にいろいろな場面に出会いました。その中から、特に印象深い3つの場面を紹介したいと思います。

1つめは、1年生の下校引率中にある女の子と「よく友だち100人できるかなとか言うよね」と話しているときに、「彼方小学校には207人の子どもが通っているよ。」と教えると「わあ～、友だち207人できた!」と素直に喜んでいました。分け隔てなくお友だちになる姿勢にほっこり感動しました。

2つめは、放送の委員会活動時です。放送委員会や給食委員会の子どもが、朝やお昼の放送をしているのですが、旧の委員会の子が新しい委員会の子に丁寧に引き継ぎにきてくられていました。聞くと特に先生に指示された訳でなく自発的にきてくれたそうで、その「思いやり」に感動しました。

3つめは、全校児童で歌う「校歌」の歌声の素晴らしさです。気持ちよく元気に歌い、声量もびっくりするぐらいあり、富田林中に歌声が響くのではと感動しました。また、校歌の作詞者は、中谷善次さんという大正・昭和時代の南河内の明星派歌人の方で石上露子さんと与謝野晶子さんとゆかりのある方であると地域（伏見堂）の坂口さんから教えていただきました。



子どもたちは集団の中で成長していきます。同じ学年の横の関係だけでなく、異年齢の縦の関係の中でも多くのことを学びます。今後も「縦」・「横」そして家庭や地域の方々も含めた「斜め」の関係等、様々な集団での取り組みを続け、彼方小学校の伝統を守っていきたいと思います。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。